

小千谷縮 展示館、ワークショップ、ギャラリー

リネンのような小千谷縮は、400 年以上にわたり新潟県越後地方で織られてきました。その生産工程には、冬に行われるさまざまな段階があります。この地域の冬の比較的温かな気温と高い湿度が、苧麻の弱い繊維を扱う作業に最適な環境を生んでくれます。小千谷では、2 つの施設が、小千谷縮について学んだり、織り工程を体験したり、小千谷縮でできた伝統的な着物と現代の衣服を比較したりする機会を、訪れる人に提供しています。

織之座（展示館・ワークショップ）

織之座を訪れる人は、小千谷縮の歴史を深く知ることができます。織之座は、小千谷市中心部のサンプラザにある展示館・ワークショップです。伝統的な織機や近代的な織機、また小千谷縮でできた江戸時代（1603～1867 年）の着物も展示されています。展示では、植物繊維による糸づくりから、使われる防染の技法、また雪と日光への晒しによる天然の漂白まで、生産工程の各段階について説明されています。織之座では写真や織物の展示が定期的に行われ、地元の芸術家や職人による作品が注目を集めます。織り手による実演は定期的に行われており、織機を使ったコースター作り、リボン作り、布人形作りの体験も可能です。

匠之座（ギャラリー・ブティック）

匠之座では、印象的な模様のある着物や縮の展示と販売が行われています。ここでは、地域のお祭りで演者が身にまとっている着物など、手の込んだ品々を目にすることができ、小千谷縮でできた唯一無二の服やアクセサリを購入することができます。財布、カードケース、ブックカバーといった、現代の様々なアパレルやアイテムが入手できます。当ギャラリーは、サンプラザ 2 階、織之座の上にあります。